

なかがよ

町議会だより

No.141
平成24年4月18日発行
長崎県長与町議会



ぽかぽか陽気に誘われて

中尾城公園



ミックン
(町イメージキャラクター)

3月定例会

一般会計予算	2
厳しい 国保税引き上げ	4
上下水道会計	6
14人が問う 一般質問	7

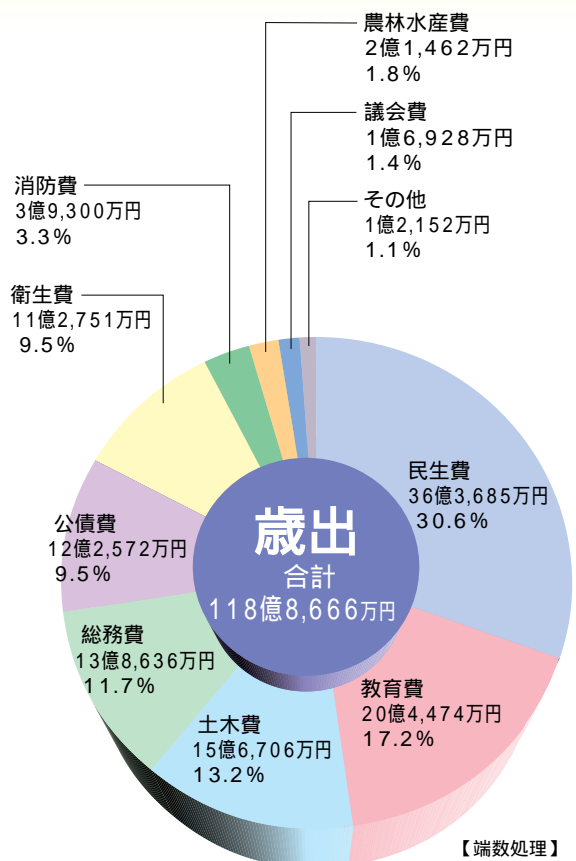
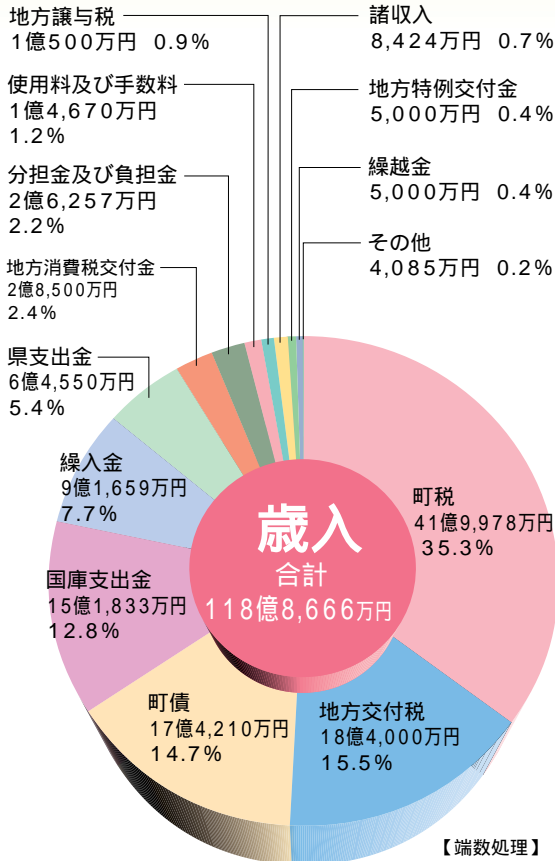
8,666万円

可決

賛成16:反対2

平成24年度一般会計予算

24年度第1回定例会は、3月7日から23日まで開かれました。
24年度一般会計予算など27議案と1請願が審議され27議案が可決、1請願は採択となりました。



24年度長与町一般会計予算

23年度と比較して3億5802万円の減額となりました。

主な事業

●イメージキャラクター製作委託料 147万円

長与町のイメージキャラクター「ミックン」の着ぐるみ製作。

●道路新設改良事業 2億7600万円

町道平木場線道路改良事業、町道高田小学校線道路改良工事、町道池堂西時津線道路新設事業、(仮称)町道高田南自由ヶ丘線道路新設事業。

●子ども手当 8億2476万円

3歳未満1万5千円、3歳小学生で第1子・第2子1万円、第3子以降1万5千円、中学生1万円。

●子宮頸がん等予防接種事業 5884万円

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン。

●妊婦健康診査事業 4700万円

妊娠中の母子の健康管理のために健康診査助成14回実施。

●有害鳥獣対策 545万円

農作物等に被害を及ぼす有害鳥獣への対策に係る事業捕獲委託料、狩猟免許取得助成、ワイヤメッシュ柵等の設置の一部補助。

●長与小学校校舎建設事業 10億2715万円

建て替えに伴う長与小学校の校舎建設工事を23年度から継続して実施。

●長与町国民健康保険繰出金 1億5618万円

国民健康保険基金安定負担金保険税軽減分、保険者支援分、事務費等、出産育児一時金、国保財政安定化支援事業。

予算総額 118 億

主な質疑

滞納による動産の差押え

問 徴収について注意している点は何か。

答 事前に数回通知して、納税の誠意が認められない人に差押えをしている。

公園の遊具点検

問 公園の遊具点検もシルバー人材センターに委託しているのか。

答 委託している。点検の要領を指導し、調査・報告後に町職員が現地を確認している。

高齢者への入浴補助券の支給

問 入浴補助券を必要としない人に対して何か検討しているか。

答 以前から検討しており具体的に実行したいと考えている。商品券やタクシー券などの選択性も考えている。

ごみ袋の値上げ

問 現在ごみ袋は1枚17円で全国平均が40円である。再考するべきではないか。

答 安いと思う。しかし、きちんとした形での議論が必要と考えている。

中学校で柔道が導入される

問 なぜ長与中だけが柔道着を購入するのか。

答 第二中と高田中は備え付けが40名分あったから。

長与駅ホームの清掃

問 外部業者の参入を考えていないのか。

答 駅舎の管理委託についてはJR九州がJR九州の関連会社のみには委託していない。

賛成討論

国から交付される予算額よりも抑えられて計上されている。
企業の誘致を図って雇用を確保、税収のアップ、積極的な婚活事業を推進していく必要があるが、おおむね妥当な予算と判断する。

反対討論

23年度より増額の税収を試算しているが、これは年少扶養控除が廃止され町民の負担が増えたものである。
徴収減の中で差押え時に税の対価になりえないものが差え対象になちており、町民の理解が得られるような対応を強く望む。
西高田都市計画道路において1メートルが約300万円を超える事業が本当に必要であるか疑問である。

全会一致
可決

全会一致
可決

全会一致
可決

賛成16:反対2

町税条例の一部を改正する条例

個人住民税が500円上がります

復興増税法の施行により、町の防災の財源確保のために、26～35年まで個人住民税に500円を上乗せして課税します。

反対討論 復興財源の名の下に不公平をもたらした町民に負担を押し付けている。

賛成討論 地方税法の改正によるものであり、本町の独自の判断は現実的ではない。

23年度一般会計補正予算

6275万円減額
総額124億2632万円

補正の主な理由

町税が当初より増える見込み。国から交付される地方交付税が決定し増額。その他事業の確定利率の変更、財源の組替による。

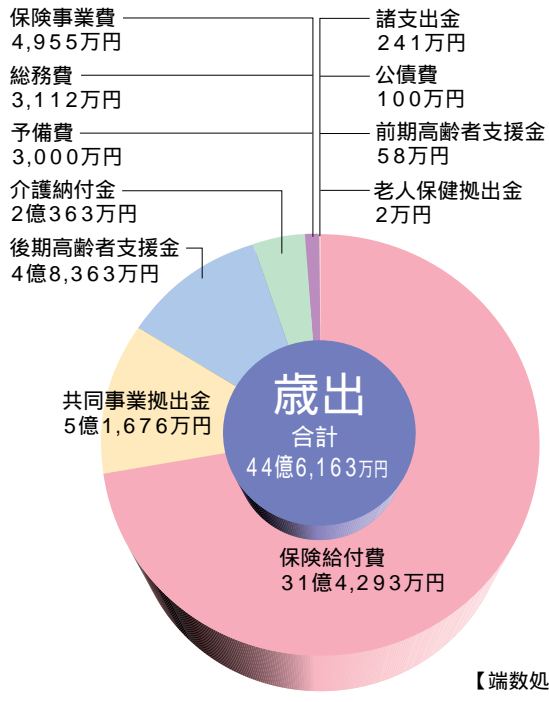
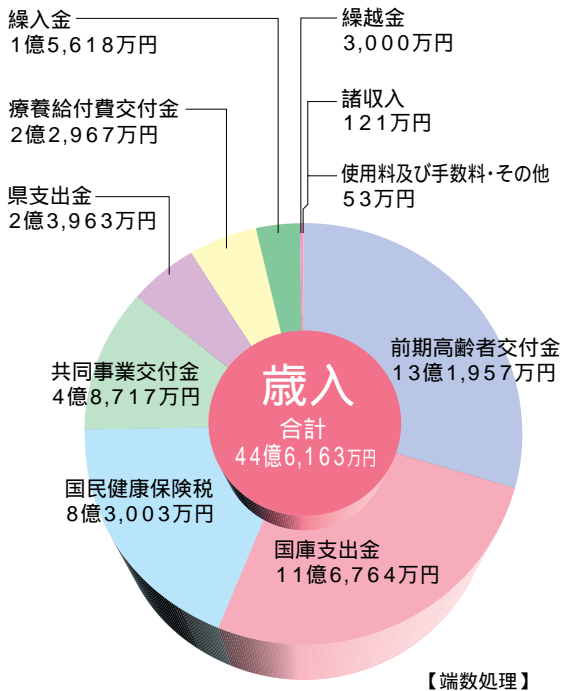
ふれあいセンター上段の用地購入費1億3400万円。

長与町国民健康保険特別会計繰出金7000万円。これは国保医療費の伸び幅が予想より大きかったことが原因。

国保特別会計予算44億6,163万円

可決

賛成16:反対2



平成24年度「国民健康保険特別会計予算」、「介護保険特別会計予算」、「後期高齢者医療特別会計予算」などを慎重に審議し、すべての議案を可決しました。

賛成討論

本会議では賛成討論なし

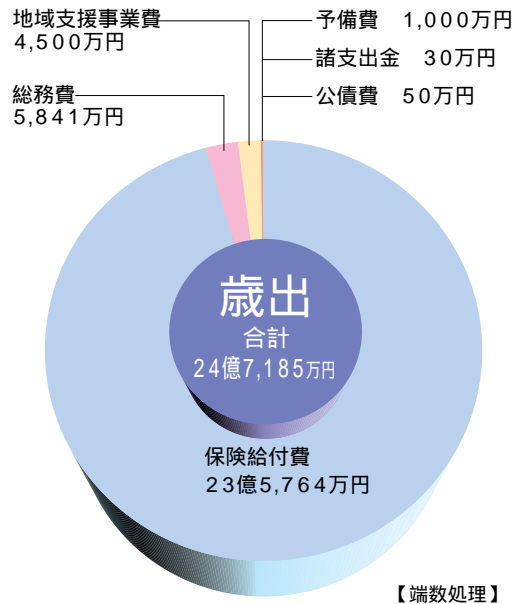
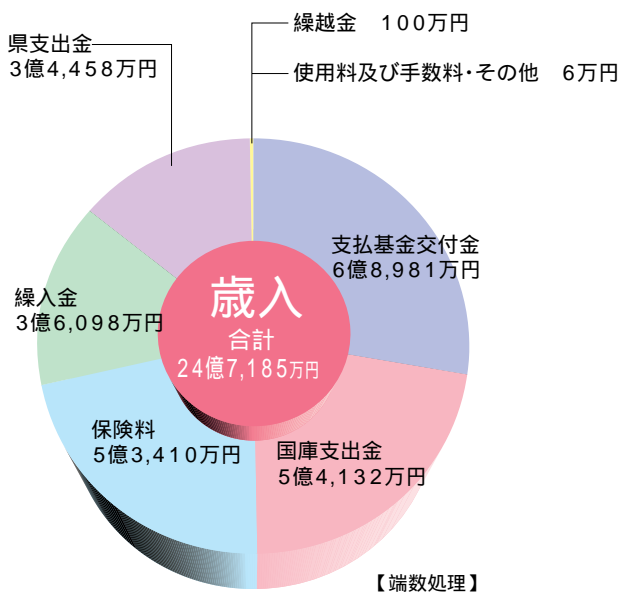
反対討論

国保加入者は社会的に弱い立場の人が多数加入しており、値上げによる緩和措置が取られていない。

介護保険特別会計予算

可決

賛成16:反対2



賛成討論

負担能力に応じた所得の細分化(8段階 10段階)や基金取り崩しなど引き上げ幅圧縮の努力が評価できる。

反対討論

この予算は議案11号の保険料の引き上げを前提に組まれた予算であり、住民負担を大きくする。

長与町介護保険の一部を改正する条例

可決

介護保険料が変わります

第5期(平成24年度～26年度)

賛成16:反対2

(介護保険料)

所得段階	対象者	保険料額(年額)
第1段階	生活保護受給者及び市町村民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者	32,400円
第2段階	世帯全員が市町村民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合算額が80万円以下の方	32,400円
第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合算額が80万円を超え120万円以下の方	42,100円
第4段階	世帯全員が市町村民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合算額が120万円を超える方	48,600円
第5段階	本人が市町村民税非課税(世帯では課税)で、課税年金収入額と合計所得金額の合計額が80万円以下の方	58,300円
第6段階	本人が市町村民税非課税(世帯では課税)で、課税年金収入額と合計所得金額の合算額が80万円を超える方	64,800円 (基準額)
第7段階	本人が市町村民税課税で合計所得金額が125万円未満の方	71,200円
第8段階	本人が市町村民税課税で合計所得金額が125万円以上200万円未満の方	81,000円
第9段階	本人が市町村民税課税で合計所得金額が200万円以上300万円未満の方	97,200円
第10段階	本人が市町村民税課税で合計所得金額が300万円以上の方	106,900円

今回、第5期事業計画(平成24年～26年度)の策定により、平成24年度からの保険料額が改定されました。

賛成討論

本会議では討論なし

反対討論

年金の給付額は、引き下げられ、国保・後期高齢者医療保険料が引き上げられ、介護保険料まで引き上げられると、高齢者、年金暮らしはますます厳しくなるので反対だ。

平成24年度後期高齢者医療特別会計予算

可決

歳入歳出総額 **3億7,789万円**

賛成16:反対2

その他の議案

全会一致
可決

- 長与町印鑑条例の一部を改正する条例
- 長与町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 長与町立公民館の設置・管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例
- 長与町地域自立支援協議会条例
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 平成23年度長与町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 平成23年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度長与町介護保険特別会計補正予算(第3号)

以上の議案が審議されました。

24年度土地区画整理事業特別会計予算

可決

予算の総額は、歳入歳出それぞれ9億9,970万円とし、高田南土地区画整理事業は23年度末で86.3%の事業進捗となります。審査では工事の進捗や今後の見通しなどについて慎重に審査し賛成多数で可決しました。

賛成16:反対2



賛成討論

国道との接続で利便性が向上し確実に工事の成果がうかがえる。今後、工事の完成を目指し最大限の努力を望む。

反対討論

長与町の自然を破壊し、住民の生活環境の破壊につながる恐れがある。町民の生活を脅かしている。

24年度土地区画整理事業特別会計予算、23年度土地区画整理事業補正予算、24年度水道事業・下水道事業会計予算、23年度水道事業補正予算および町道路線の認定など8項目の議案について慎重に審査しました。

23年度土地区画整理事業補正予算

全会一致可決

土地区画整理事業特別会計補正予算において、繰越明許費を2億7,660万円が計上されました。繰越については、工事4件、補償2件となっており、慎重に審査の結果、全会一致で可決しました。

工事補償 高田線(高田越橋～百合野橋・百合野橋～百合野踏切)等埋設管移設等
繰越明許費とは、自治法により翌年度に繰り越して使用できる経費

24年度水道事業・下水道事業会計予算

全会一致可決

24年度の水道会計予算・下水道会計予算については、工事内容、契約状況、未収金の状況など慎重に審査し、全会一致で可決しました。

水道事業会計予算

収益的収入	6億9,951万円
収益的支出	5億9,634万円
資本的収入	972万円
資本的支出	3億256万円
給水戸数	15,388戸
年間総給水量	3,669,612m ³
一日平均給水量	10,054m ³



下水処理を行う浄化センター

下水道事業会計予算

収益的収入	8億7,887万円
収益的支出	6億7,018万円
資本的収入	5,507万円
資本的支出	4億2,285万円
排水戸数	15,311戸
年間総排水量	4,462,912m ³
一日平均排水量	12,227m ³

用語解説

収益的収支・・・主に維持管理の関係 収入＝使用料、負担金 支出＝維持管理費、人件費
資本的収支・・・主に設備投資の関係 収入＝補助金、借入金 支出＝事業費、償還金

23年度水道事業補正予算

全会一致可決

資本的支出3,220万円の減額

これは水道事業施設の改良工事に伴う入札による落札減額によるものです。

町道路線の認定

路線名 アップルタウン線 長与町高田郷字城ノ平
延長 185m 幅員 6m

全会一致可決

14人が問う

会議録の閲覧

一般質問の会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町ホームページで閲覧できます。

一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

一般質問

質問の内容は事前通告制です。制限時間60分の範囲内で一問一答で行われます。

金子 恵 議員	8 P
高齢者にやさしいまちづくりについて 町政の課題について	
山口憲一郎 議員	9 P
消防団活動の充実・強化について	
安藤 克彦 議員	10 P
建設中の長与小学校校舎について 学校(一部保育所・保育園を含む)給食について	
岩永 政則 議員	11 P
長与町における行政課題について	
吉岡 清彦 議員	12 P
町長の器有りや否やについて 危機管理体制の確立について	
佐藤 昇 議員	13 P
長与町の諸課題について	
竹中 悟 議員	14 P
長与町の将来像について 町内商工業者育成について	
安部 都 議員	15 P
障がい者福祉行政について	
饗庭 敦子 議員	16 P
長与町の産業振興について 地域情報化の推進について	
西岡 克之 議員	17 P
長与町の道路および交通政策について 教育政策について 高齢者介護福祉ボランティアについて	
分部 和弘 議員	18 P
長与町の交通行政について 長与小学校校舎建設について	
河野 龍二 議員	19 P
土地区画整理事業に伴う環境変化の周辺整備について 町長選挙に向け町長の考え方について 確定申告変化に伴う対応について	
内村 博法 議員	20 P
有害鳥獣対策について 成人式について 防災対策強化について	
堤 理志 議員	21 P
住宅リフォーム助成制度の創設について TPP(環太平洋経済連携協定)に参加した場合の 長与町の影響について 長与ニュータウン振興策の今後について	

Q 高齢者にやさしいまちづくりを

A 真剣に取り組んでいく

金子
かねこ

恵
めぐみ
議員



議員 高齢化の進展に伴い、介護や福祉を必要とする人が増えている。人生を幸せに生きるための環境づくりは切に望まれる。やさしいまちづくりに大切な

高齢者の安全を考え、「免許証自主返納制度」支援に取り組む考えはないか。

地域政策課長 本人の自主的な気持が必要である。安全・安心の観点から、検討し支援していく。

議員 住民の中に、本制度を推進し、活動している人もいる。実施から13年も経過していることを考えても、行政として真剣に取り組む、周知していくべきではないか。

課長 広報などで啓発していく。

議員 見守り世帯支援制度「ながよの絆づくり」が進んでいるが、現在、高齢者の孤独死、孤立死など社会問題化

している。現状をどう捉えているか。

福祉課長 大きな問題と考える。最初の見守り、近隣の声掛けなどから始めていきたい。

黄色い旗運動

議員 近所同士の見守りは、生活する上で当たり前前だった時代に帰るだけの、本来ならば簡単だった行為であ



▲その笑顔、隣同士で守ります

る。しかし、人間関係が希薄になった現在では、意識して行わなければならぬ。9月議会において、長与バージョンで考えたと答弁していた「黄色い旗運動」は、厳しい財源の中、できることは住民の手に委ねるといふ観点から、有効な手段と考えるがどうか。

福祉部長 先の議会で質問され、国東市へ視

察に行った。考えは同じである。住民の中にも相互扶助「3丁目の夕日」の昭和の時代の気持ちはある。その気持ちを発揮できるきっかけづくりが、行政の役割だと思ふ。本町でできる場所があれば、導入したいと思っている。そして、今後

も前向きに考えていく。

Q 町政の具体的なビジョンを聞く A 町民の目線で考えてきた

議員 町政に対してのビジョンをどう考えていたか。

町長 トータルで言えば3期12年、町民の幸せの拡充、拡大を願ってきた。行政任せではなく、町民それぞれの力を出し合ってもらふことで、ごみ分別収集や、長与川をきれいにするなど協力を得た。それは、町民の方が

行政に参加していただいたということである。

町民提案事業などは、町民の方に行政に関心を持ってもらわなければ、本町はよくなっていないという考えから続けてきた。そして、いつも住民の目線で考えてきた。

公開討論会

議員 今回の町長選挙に対し、住民の関心は高まっている。候補者の訴えを公平に聞きたいという住民の声を多く聞く。中立の立場に立つての「公開討論会」への案内があった場合、出席するのか。
町長 テーマによるが、そういうものに逃げたりしない。



山口憲一郎 議員
やまぐちけんいちろう

Q 町を守る消防団の強化を

A 一層の充実・強化を図る

議員 住民の生命と財産を守る消防団活動の一層の充実・強化が望まれる。現状では新たな消防団員の確保が困難な状況にあると聞かすが、実態はどうなっているか。

町長 本町の消防団員の定数は、団長以下290名となっており、



▲町民の生命と財産を守る消防団員

り、現在のところ欠員が生じている分団はない。しかし、分団長会議の中では、団員の確保が厳しいとの意見も出ている。

議員 団地が増加している中で、今後の消防団の構成をどのように考えているか。

町長 地区の分団の定数は、40名が2個分団、30名が5個分団、22名が2個分団となっているが、管轄区域の世帯数の変動などにより団員確保状況も変化してきた。

定数の見直し、または管轄区域の見直し、および団員構成については、今後各方面の意見を聞きながら慎重に検討していく。

議員 仕事を持ちながら消防団活動を行っているが、消防行事などへの出席は大変と思われる。勤務する企業への消防団活動の理解促進は、どのように行われているか。

町長 勤務の傍ら消防団活動に従事している団員が大半を占めているが、この現状を考えると、活動に理解をいただけるよう、各企業への啓発が必要と考えている。

現在は各団員が休暇

を取って消防行事に参加しているが、町では休暇を取らなくても参加できるように、証明書の発行をするような対策を講じている。

機器の環境整備は

議員 消防団活動にはポンプ車や小型積載車さらには各種機器や備品などの整備・拡充が必要となる。団員の懸命の活動に報いる観点からも、活動しやすい環境づくりが必要だが、どのように取り組んでいるか。

町長 消防自動車については、おおむね20年程度で計画的に更新を行っている。機器などについても計画的に見直しを行っていきたい。

議員 自主防災組織と消防団の日常的な連携について、つながりが希薄との声を聞かすが、町はどのように捉えて

いるか。

町長 町が把握している自主防災組織の防火訓練は、15組織で実施されている。そのうち13組織の訓練には消防団も要請を受けて参加している。

現状は、消防団と活動内容が異なることから、どの程度の連携が行われているか把握できていない。消防団も自主防災組織やコミュニティに参加しており、役割は理解していると思われる。

Q 偽装工事は起こらないか 長与小

A 気を引き締めて取り組んでいる

安藤 克彦 議員



議員 近隣市の公共施設偽装工事を受けて、本町でも長与小学校建設に対策を行ったのか。

教育長 何度も施工業者と監理業者との会議で、そのようなことがないよう確認を行った。

また、監理業者が何度も確認を行っている。

議員 近隣市のように偽装工事が発覚してもそのまま工事を続けることは、一般人の感覚では考えられない。本町は毅然とした態度をとれるか。

教育長 毅然とした態度で臨む。

Q 給食の安全確保に向けた取組は法に基づき安全確保に努めている

議員 食材の安全確保に向けた取り組みは。

教育長 安全・安心な食材を安定的に提供す



▲しっかりたのみますよ

るため、学校給食会に一括発注している。学校給食会は、全国的なネットワークを駆使し産地や薬品、食品添加物、放射能、消費期限を調査・管理している。

給食物資納入業者の選定に当たっては、保健所の衛生監視を受けた業者の中から、町教育委員会や学校栄養職員が立ち入り調査を行い選定している。

議員 共同調理場の安全対策はどのようなになっているか。

教委総務課長 老朽化により器具も含め機械設備関係の支障が多数出ている。今のところは注意をしながら使っている。

議員 食中毒を予防するためにも調理員の体調管理が重要であるが、いざ体調が悪いときに休みを取りやすい勤務態勢はとれているか。

教育長 調理員14名のパートの方を登録している。休む時に連絡をもらうと、この方々が

代わりに入るようになっていく。

議員 給食費の徴収実績は、どのようなになっているのか。

教育長 22年度の納入率は小中で99・4%である。

議員 未納の実態と対策はどうしているか。

教育長 年間を通しての未納者と、ある月だけの未納者を合わせるそれぞれの学校に数名ずついる。校長が未納者に対し、根気強く働きかけて未納者の解消に努めている。

議員 集められた給食費は、誰が管理をしているのか。

学校教育課長 共同調理場は場長が、**※**自校炊飯の学校は、校長が管理している。

議員 近年、県内でも数件給食費を管理していた学校職員の横領が発覚している。学校の負担軽減や会計を透明化する上からも給食費

※の公会計化についてどのように考えるか。

町長 指摘を受けているのは会計処理上の問題と考える。これからきちんとしていけばいい。学校給食については教育委員会の職務権限になっている。給食費を町の会計にはなかなかならない。

※自校炊飯

校内の給食室で調理提供すること。長与町では、長与・長与北・高田・洗切の各小学校を指す。

※学校給食費の公会計化

現在学校に納入している給食費を直接町に納入し、町の予算に位置づけることで、予算・決算・監査など、町の会計ルールで管理・運用する。近年取り入れる自治体が増えている。



岩永 いわなが
まさのり
政則 議員

Q 保育料(第2子)無料化決断を

A そのように取り組んでいく



▲みんな仲良く…おいしいね

議員 人口増加対策の一つとして、子育てに視点をあて大胆な発想の転換が必要である。保育所入所児のうち、一世帯の2人目の子どもの保育料を、現在の2分の1を無料化することを決断すべきであると思うがどうか。

町長 そのように考えている。取り組んでいきたい。
議員 近年、佐世保市もイオンが3ヘクタールと規模の小さい店舗を計画している。再度イオンの誘致の考えはないか。
町長 その後何回か接触があり、あきらめてはいないとのことである。イオン側も時期がきたらお願いしたいと話がきている。

議員 現在の議員報酬では、若くて素晴らしい人材は集まらない。現在の報酬の見直しにより「若い人たちの政治への参加機会の拡大」「競争原理への寄与」「町民の候補者選択の幅が大きく拡大」が期待できる。

および別地を含めて検討している。
議員 それでもいまだに場所がはつきりしない。どうするのか。
町長 言われるように努力する。

先見性の欠如か

議員 行政改革の視点から少人数の課を集約化し、大課制など取り組む考えはないか。
町長 縦割り型組織にとられない組織編成を推進する。

議員 時津町との教育委員会の共同化はどうか。
町長 共同設置は考えていない。

高速船の発着所を、町民が利用しやすいように、東側の港(まんのそば)に変更する考えはないか。
町長 この場所は、国体時の駐車場に利用したい。町民の利便性は増すが、変更はできない。
議員 長与町は通勤者が多く、役場の土・日曜日開庁は住民サービスの最たるものである。新しい時代の感覚と、住民のニーズを先取りして取り組む考えはないか。
町長 土・日開庁は難しい。繁忙期など今後検討する。

町長 報酬審議会を開いて検討する。
議員 長与町公民館・図書館を含めた生涯学習センターの建設位置は二転三転し、現在はどこにするのか全くわからない状況である。どうするのか。
教育長 場所は現在地

議員 長与ニュータウン内の国のアパートは空き家が多い。早急に国と協議し町営住宅にする考えはないか。
町長 1・2棟は60戸中30世帯が空き家。利用は不可能である。
議員 長崎空港行きの

Q 町長の器有りや否や

A 経験を生かして課題に取り組む

吉岡 清彦 議員



▲リーダーの姿

議員 組織はその長の器の大きさによって、目的の達成感あるいは実現度が大きく変化するものと思われる。特に幸福感や満足感を与えると共に、未来に希望や夢を持たせる指導力があれば、器の大きい素晴らしいリーダーではないかと思う。逆に、人の意見を手玉にとったり、都合が悪ければ、ダチヨウやドジヨウのように頭を隠すこのようなやり方を「長の器に非ず、人を以て鳥に如かざる可けんや、亦之を如管ともする無し」というべ

いくであろう。ただし、議会体として茹ガエル化となつてはよくない。片や葉山町政を見ていると後者に値し、これからの長与町に希望や未来を感じ得ないところである。今後の町政にどう取り組むのか。

町長 町政の最大の目的である町民の幸せな生活の実現を目指して、職員と共に常に町民の目線と立場に立った町政の推進に努めてきた。地方自治体を取り巻く環境は大変厳しい状況にあるが、今後、これまでの成果と経験

きである。では長与町はどうか。議会と行政は車の両輪といわれている。まず議会を見てみると新議長のもと土台はできた。良き方向へ改革されていくであろう。ただし、議会体として茹ガエル化となつてはよくない。片や葉山町政を見ていると後者に値し、これからの長与町に希望や未来を感じ得ないところである。今後の町政にどう取り組むのか。

を生かし、さらに住民の意見、指導を受けながら多くの課題に取り組む。

議員 米国の未来学者ハーマン・カーン（故人）は「考えられないことを考える」と想定外のことを考えておくとアドバイスをしている。長与町においても国家賠償法に基づく事案が発生したが、今後、職員および教職員についてこのような事件が発生すると思うか。

町長 先々のことについては回答できかねる。

議員 このような事件で、対応する加入保険の1人当たりの保障限度額はいくらか。

町長 今回のような人格権の侵害に対しては1被害者に100万円、1回の不当行為につき総額1000万円である。

議員 賠償金が1人1億100万円と決定した場合、補てん後の金額はいくらか。また、その財源は税金か。

町長 総合賠償保険で対応できるので、残金が出てこない。

議員 賠償金を税金で支出した時、住民から管理者に対して賠償請求があると思うが、どう対処するのか。

町長 求償権を行使する。

Q 危機管理体制の確立を図れ

議員 事件の抑制の意味からも身元補償制度

A 身元補償制度の活用を検討する

議員 事件の抑制の意味からも身元補償制度



▲危機管理の要諦



佐藤
まさひと

のほろ
昇
議員

Q 建設場所はどこになる新図書館

A 現在地か榎の鼻地区を考えている

議員 新図書館の建設場所はどこになるのか。

町長 現在地か、榎の鼻地区の区画整理事業内で検討している。

議員 どのような図書館にするなど、基本的な案はできたのか。

教育長 基本方針の案を作り、図書館協議会へ提案した。

議員 作成に当たっては、社会教育委員会や図書館協議会の意見を聞きながら固めていくとのことであったが、聞いたのか。

生涯学習課長 今後、聞きながら進めていく。

議員 図書館設立検討委員会は新年度から立ち上がるとのことであるが、どういうメンバーを予定しているのか。

教育長 職員、図書館協議会などの学識経験者、プラス公募を考えている。



▲小学校はできるだけ図書館はいつになるのかなあ

議員 五島市では建設する段階になって、豪華すぎる、高すぎるとの理由で住民運動がおき、議会でも問題になっている。情報公開を十分にしていなかったことが原因と思われるが、長与町はどう考え対応していくのか。

教育長 タイミングを

計りながら、随所随所で公開していく。

議員 よい図書館を造るには専門員の配置が必要と思うがどうか。

町長 教育委員会とよく相談する。

議員 住民生活に光をそそぐ交付金事業が国会で審議中であり、予算化される予定である。

る。この事業を利用して図書館と学校や、ふれあいセンターなどをネットワークで結び、貸し出し、返却、予約、検索などができるシステムを構築することができると思うがどうか。

課長 使えるのであれば検討したい。

土地開発基金は

議員 土地開発基金条例で、基金の額は300万円となっている。現在高は土地、現金合計で4億7500万円であり、あまりにもかけ離れている。改正する必要があると思うがどうか。

町長 指摘のとおりであるので改正する。

議員 処分条項がないことも問題である。それに、この条例には規則がない。どういう時にこの基金を利用して

土地を取得するのか、取得する時の内部の事務手続きなどを定めるべきと思うがどうか。

使用料・手数料は

議員 使用料・手数料についての改正時期は別にしても、一定の結論を出すべきと思うがどうか。

総務部長 施設ごとの年間経費と収入を基に、どれくらいの使用料が適正なのか検討した。値上げが前提ではなく、公平さと受益者負担を考慮しながら進めてきたが結論には至っていない。不況による社会情勢と、24年度に国保税を値上げし、町民負担が増えることも据え置き要件である。

Q 長与町の将来像は

A 住んで良かったと言われる街創り

竹中
たけなか

悟
さとる
議員



議員 「税と社会保障の一体改革」の論議の中で消費税および年金改革が注目を集めている。民主党が「マニフェスト2005」で最低保障年金7万円を華々しく公約して7年が過ぎてきているが、いまだ具体策が出ていない。基本方針も出さない、党内意見集約もできない状態で、消費税論議は国民が認めない。

また、東日本大震災の初動施策の失敗から、復旧に大変な遅れを取った。外交防衛に関して、素人集団である。このような国内事情の中、本町の首長選挙が4月に執行される。町長の選挙に対する想い・任期中の実績・反省・将来に向けての展望をどう考えるか。

町長 財政健全化、夢、対話、活力を基調とした、活力ある長与町発展のため努力した。合併問題、学校耐震化問



▲長与の未来を托す

題、特にごみ問題に力を注いだ。合併についても、単独を選び苦渋の選択をした。「長与町まちづくり町民意識調査」においても満足度は73・3%、住み続けたいと答えられた住民は84・8%であった。一定の道筋はついたが今後、長与小学校の建設、保育所、生涯学習センター、図書館、ご

み焼却施設建設、榎の鼻土地区画整理事業など、問題は山積している。昨年、向こう10年間のまちづくりの基本指針となる「第8次総合計画」に基づき、まちの将来像を「郷の和気、夢・緑・創造のまちながよ」と定めた。今後のまちづくりの目標として取り組んでいく。

議員 資源ごみ拠点回収については、弱者からの批判が多い。3カ所の救済地を設けたが、さらに対策を望むがどうか。

町長 環境問題、住民間交流など、協働の観点から良い方法である。「個別回収」「高齢者ごみ出し支援事業」実施など、一定の理解を得ている。今後も、弱者支援、対策も視野に入れながら検討する。

Q 町内商工業者育成は 長与町に見合った 施策を模索する

議員 町内の商工業者の現状は、把握しているか。

町長 民需公共工事の低迷、従業員の高齢化で厳しい状態である。自己努力により、利益を確保している事業所もある。国、県の施策を踏まえ適切に対策

を講じていく。
議員 商店街活性化策として、長崎市に魅力ある事業があるが、取り入れることはできないか。

町長 研究検討し、実情に合った事業を取り入れたい。
議員 公共工事の下請けに、町内業者は参加しているのか。
町長 落札業者には、お願いしている。

議員 長与小学校建設で、落札業者から下請け業者に対する発注は電気6800万円、設備1億3300万円で、設計価格の60%程度と聞いたが妥当なのか。
町長 今後、建設業法も含め行政指導する。



安部 都議員

Q 障がい者医療費助成の現物給付を

A 県下同時に実施の方向で一致

議員 障がい者医療費の現物給付制度についての町の考えはどうか。

町長 この制度は、県と町が2分の1ずつの負担で実施され、県福祉医療制度検討協議会において検討する。現物給付については、現在、協議会の障害者専門部会で協議中であり、市町の意見としては、県下同時に実施の方向で一致している。

議員 現物給付方式に変更の場合のメリット・デメリットは何か。

福祉課長 メリットは、利用者の窓口の簡素化となり、デメリットは、費用がかさむことである。

議員 支給対象者枠はどのくらいか。

課長 約12000名の見込みとなる。

議員 支給方法、対象枠、所得制限の決定権は県が主体なのか。

課長 県の制度だから

県が主体となる。決定となれば、町は、他市町と足並みを揃えていきたい。

議員 現物給付に移行した場合、町の負担はどのくらいか。

課長 3割増となる見込みである。

新制度の制定は

議員 今年度より、障がい者自立支援法から

障がい者総合支援法（仮称）に移行される予定だが、町の考えと施策はどうか。

町長 制度改正については、国会を通過し制度が決定したら、制度に沿って事業を展開していく。

議員 厚労省の作業部会ワーキングチームが協議している内容はどのような概要か。

課長 ①障がい者の福祉サービスの一元化②障がい者が働ける社会③地域で限られた資源

で活用できる規制の緩和④サービス利用の制度の透明化、明確化⑤増大するサービスをみんなで負担し支え合うなどの内容となっている。

議員 現在の利用者負担は、応益負担の1割で、障がい者が重ければそれだけ経費がかかってしまう制度であるが、今後はどうなるのか。

課長 障がい者の食事などやサービス料は、所得に応じた公平な利用者負担となっているが、具体的には未定である。

議員 今後、応益負担から応能負担となると考えていいのか。

生活福祉部長 厚労省の案に作業部会の意見が反映されていないなど論議がされている。今後、厚労省の案を注視していく。

議員 現在、精神障がい者の就労の場は皆無の状態である。職場の

理解と環境のしくみを確立する必要があるが、見解と取り組みはどうか。

町長 雇用促進や職業の安定を図る事業や、地域における就労支援の啓発活動・実習先の拡大・ネットワークの強化などを行なっている。法定雇用率達成企業が59・7%である。



▲窓口申請…早急に簡素化の対応を

Q 産業振興への積極的な取り組みは

A 町内産業の活性化を図っていく

饗庭 敦子
あいはば あつこ
議員



議員 本町の商業・産業が疲弊状態の中で、町の産業に活力を与え一層の住民サービスの向上を図る施策の中で、今こそ産業振興へ積極的に取り組まなければならぬと思う。そこで町の産業についてのどのように捉えているか。

町長 農業などの第一次産業は厳しい経営状況を強いられているとともに、農業従事者の平均年齢が約66歳と高齢化が進み、後継者や新規就農者も少ない状況である。事業所は一事業所当たりの従業員数が少なく、小規模な事業所が多くなっている。

議員 町の産業活性化の今後の計画はどうか。

町長 商業などについては、商工会と一体となって事業所育成や町内消費の拡大を図っていく。

議員 特産物のPRの方法と効果はどうか。

町長 本町の特産物であるミカンはJAGがケーブルテレビを活用、市場や店頭での試食販売や生産者による対面販売などを実施し、PRに努めている。また観光PRとして、本町の観光ガイドにも特産品として紹介し、地元の旅行会社への訪問などを実施している。そのPRの効果については、数値化することは困難である。

議員 フェイスブックを活用しての特産物PRは考えられないか。

町長 特産物に限らず町のPRなど有益な情報を発信することは可能であり、十分研究・検討をする。

議員 フェイスブックの費用は掛からないので、具体的にどう進めていくか。

フェイスブックは

議員 地域情報化の推進を図れ

情報発信 事務処理の充実を図る

議員 地域情報の推進について、「住民の利便性向上」「行政の簡素化・効率化」「子育て支援や高齢者福祉等地域課題の解決」の観点から現在の状況はどうか。

町長 各種申請様式のダウンロード化やインターネットの導入の実施、町内体育施設の利用に係る仮予約申込みや、図書予約申込みの受付、上下水道料金のコンビニエ

ンスストアでの収納事務を行う。

自治体クラウドは

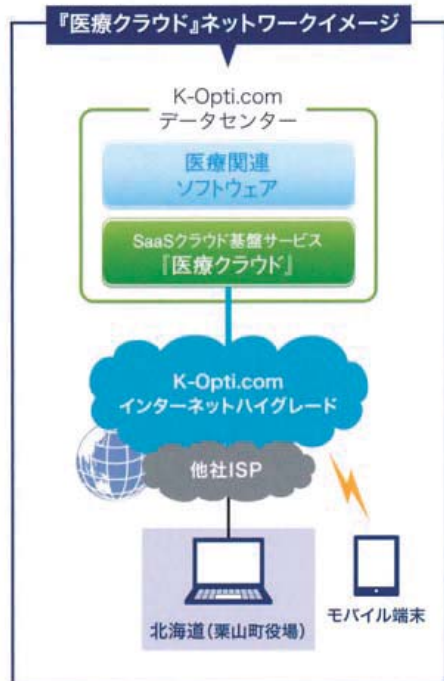
議員 自治体クラウドについて、今後の計画はどうか。

町長 本県における自治体クラウドの活用について調査検討を行っている。

議員 自治体クラウドは、国民健康保険などの住民情報を預け、自治体向けの専用ネットワークを通じ、データを送受信できる仕組み。

※自治体クラウド

民間のデータセンターに住民基本台帳、税、国民健康保険などの住民情報を預け、自治体向けの専用ネットワークを通じ、データを送受信できる仕組み。



▲自治体主導の地域医療サービスを充実、今こそシステム構築!!



にしおか
西岡
かつゆき
克之
議員

Q 高田踏切交差点の右折帯の設置は

A 県に強く要望する



▲急がれる道路拡張

議員 高田踏切付近交差点では追突事故が多発している。事故防止の観点から右折帯の設置を望むが、町の考えはどうか。

町長 現地は県道の整備は終わっており、右折帯の計画はないが今後県に要望していく。

議員 事故があったの

は、把握しているか。

地域政策課長 昨年より追突事故が、4件発生している。

議員 なお一層県に強く要望する考えはないか。

建設部長 指摘のように強く要望する。

議員 同じく33号線高田越バス停付近は、道

路工事の影響で渋滞がひどく、住民は迷惑している。今後の早期対応が望まれるが対応はどうか。

町長 現地は区画整理区域内で、24年度内の完成を目指して努力している。

議員 現場付近は双方向とも朝夕大変な渋滞となっている。渋滞緩和策として当該交差点信号を、時差式にする考えはないか。

部長 この件も強く県と時津署などに要望を出していく。

Q 柔道授業の安全性は大丈夫か

A 最善の注意を払う

議員 学習指導要領の改訂により、中学校で武道が取り入れられる。本町では柔道が取り入れられるようだが、実技に対しての安全性は大丈夫か。

教育長 事前に研修を

受けた体育教師が授業を実施する。安全性には十分配慮する。

議員 教員の研修時間はどれほどか。

教育長 実技を含めて3日間である。

議員 全柔連もサポートする用意があると言っているが、連携は取れているのか。

教育長 お願いをしているが、協力実施時間数が少ないので、本町の体育教員以外で、有段者教員などの応援をもらう。

議員 柔道授業のねらいは何か。

教育長 実技の習得もさることながら、礼に始まり礼に終わる礼儀の精神も学ばせたい。

議員 介護福祉ポイント制度について、昨年9月議会で質問したが、その後の状況はどうか。

町長 先進地である霧島市、薩摩川内市を視察研修した。その結果、両市ともこの制度につ

いての考え方は同様であった。65歳以上の高齢者が福祉施設などで、ボランティア活動をし、上限を決めてポイントを与え、介護保険料を軽減できる制度である。

そのことにより自身の介護予防に役立て、そのことで生き生きとした地域社会となることを目指す。

議員 長与町には薩摩川内市、霧島市どちらの制度がよいと思うか。

生活福祉部長 長与町に、他自治体の制度をそのまま流用するのでなく、長与町に合うように制度を改革して町民の間で浸透するように努める。

Q 町道の事故の危険性は

A 年次計画により行っていく

わげく
和弘
かずひろ
議員



議員 側溝については、溝蓋の有無が混在しているのが現状である。敷設されていない場所は、人や車両による事故の危険性もあると思うが、どのように感じているのか。

町長 一部の町道においては、蓋なしの側溝で危険性のある道路も見受けられる。これまでも危険性のある道路については、年次計画により蓋の設置などを実施してきた。

また、場所によっては蓋の強度を確保するために、道路改良など多額の予算を必要とする箇所もあるので、今後も安心・安全な道路利用ができるよう、年次計画により行っていく。

議員 国土交通省から、アスファルト施工とコンクリート施工の比較がされているが、今後の町道において、補修および新設の



▲今後も整備に期待

舗装については、どのように行っていくのか。

町長 町道については、現在の総延長は19.6kmである。内訳では、アスファルト舗装が延長14.2kmでコンクリート舗装が5.4kmである。コンクリート舗装については、農道から町道へ認定された路線が主である。町道の補修、新設については、現在まで主としてアスファルト舗装で行っている。今後も新設については、施工場所、費用および工期などを踏まえて適切に舗装を実施していく。

また、補修について

議員 長与小学校校舎建設の進捗状況についてはどうか。

教育長 現在、校舎の基礎部分を施工している段階であり、3月末から4月にかけて、1階の床部分から柱の建て方を行い、徐々に上の階へと進んでいくことになる。

工事全体の割合は、現在11%程度の進捗状況である。

議員 品質および安全対策のチェック状況についてどうか。

教育長 品質管理や安全管理の計画については、請負業者から施工計画書を提出していた

Q 長与小学校校舎建設の進捗状況は現在11%程度の進捗

は、施工効率のよいアスファルト舗装で実施していきたいと考えている。

計図書に適合しているかを工事監理委託業者と共同で監理監督していく。

もし、相違点があった場合は、指導、改善を行っていく。

また、工事監理請負業者・施工業者・町の三者が、毎月初めに総合定例会議を行い、加えて毎週木曜日に定例会議を開催し、総合的な監理対策を行っていく。



かわの
河野
たつじ
龍一
議員

Q 環境変化に十分な対策を

A 調査し対応していく



▲無残に切り取られた山

議員 高田南土地区画整理事業により、隣接する団地の住民生活が破壊された。十分な調査が必要だったのではないか。

町長 被害を受けている人には申し訳なかつたと反省している。
議員 被害を受けている住民が「何とかしてほしい」と要望をしたところ「予算がない」

「24年6月ごろまで待ってほしい」と言われている。現状困っている人に「予算がない」との対応は無責任ではないか。

都市整備課長 被害の状況に合わせて調査などが必要と考え、7月までには対応したい。
議員 ほかに被害を受けた住民からも要望が出ていと思うが、7月の対策は同じ対策工事か。

課長 自治会から要望が出ることを聞いているので、内容を見て検討していく。
議員 日々の生活に影響を受けている人、7月までの我慢を強めるのか。
町長 どんな被害を受けているのか調査が必要なので、しばらく辛抱してほしい。
議員 区画整理事業で道路環境も変化している。ふれあいセンター前の横断歩道に信号機が必要ではないか。
町長 仮設の横断歩道で道路が完成すれば、横断歩道の位置も変わる。信号機は付けられない。

時差式信号機を

議員 高田越橋交差点の信号機は時差式にできないのか。
町長 道路の完成と合わせて変更したい。
議員 現在、変えられない理由は何か。
建設部長 信号機の県の予算が少ない理由もある。

議員 県に対し増額を求めなければならないか。
地域政策課長 要望していきたい。

消費税 原発問題の考えは

A 難しい課題

議員 町長選挙に明け、国政の課題である

議員 国政の消費税増税と社会保障の一体改革が議論されている。難しい課題であるが、国の財政状況を考えると、一定の消費税の増税は必要だと思う。
議員 国政のもう一つの課題である原発問題をどう考えるか。
町長 原子力に代わる新たなエネルギーに期待したい。
議員 年少扶養控除の廃止に伴い、年少扶養の届け出がないと、住民税が増税になる。対応が必要ではないか。
税務課長 明らかに分かる範囲は、できる限り対応したい。

住民税の過負担の予防をできる限り対応したい

Q イノシシ被害対策を急げ

A 防護柵や捕獲などの対策を実施中

内村 博法 議員



▲箱わなにより捕獲されたイノシシ

議員 長崎県内のイノシシの被害は、農作物だけでなく、車との衝突や人身事故が起きるなどますます増えている。本町のイノシシ対策はどうか。

町長 ①防護用のワイヤーメッシュ柵などの設置②猟友会への捕獲業務委託や、狩猟免許取得助成の実施③イノシシが嫌がる環境整備を徹底する。さらに捕

獲意欲を高めるため、捕獲奨励金の引き上げを実施予定である。

議員 住民の人身事故などを防止するために安全対策用のマニュアルを作成し、周知徹底を図る必要がある。本町の対応はどうか。

町長 現在、本町では人身事故は発生していないが、春と秋の広報紙にイノシシと遭遇した場合の注意事項を掲

載している。また児童生徒の安全対策として、県作成の資料を町内の各小中学校に配布し、指導を行っている。

議員 猟友会メンバーの高齢化と後継者不足によるハンター減少に伴い、職員をハンターとして育成し、即戦力として出役時の即応体制を強化している自治体もある。本町も取り組む考えはないか。

町長 銃や銃弾などの管理上の問題があり、現在考えていない。

Q これからの成人式運営方針は

A 新成人による運営を中心に対応

議員 今年の成人式は混乱もなく行われたが、これまで全国各地で荒れる成人式が社会的な問題となり、成人式の意義や在り方が議論された経緯がある。本町のこれからの成人式の運営方針はどう

か。

教育長

現在の新成人による運営を継続しながら、社会人としての自覚を一層高めるとともに、「郷土愛」を育む方法を考えている。

Q 本町の防災対策強化の進捗状況は

A 防災計画や避難施設など見直し中

議員 東日本大震災から1年経過しているが、本町の防災対策強化の進捗状況はどうか。

町長

長与町地域防災計画については県の防災計画との整合性を図りながら、6月の長与町防災会議で見直し実施予定である。避難施設については町民体育館、長与北部地区多目的研修集会施設などの公共施設を新たに追加見直し中である。

また、各自治会が管理する集会施設を、一時避難場所として追加

検討中である。

議員

被害範囲や避難場所をまとめたハザードマップは、災害発生時に迅速、的確に避難ができ有効と思われるが、検討状況はどうか。

町長

避難施設などの見直し後に検討を進める。

議員

学校での防災教育は、将来社会人として地域の防災率先垂範者育成につながり、防災の輪が広がる。防災教育の実施内容はどうか。

教育長

今年早々、2つの小学校において地震と津波を想定した避難訓練を実施した。今後も、国の動向を見ながら防災教育の充実に努めていくことになっている。



堤 つつみ さとる
理志 議員

Q 住宅リフォーム助成で仕事おこし

A 制度化に向け進めたい

議員 住宅リフォームへの助成制度を、提案してきたが、その後の検討と方向性はどうか。

町長 対象工事の範囲や申請手続きなど詳細を詰めていく。町内産業の活性化に有効と考えているので、制度化に向け検討を進めていきたい。

議員 長崎市では経済効果が上がっているが、町は調査しているか。

町長 長崎市は10%の補助率と聞いている。長崎市の制度より良くしたい。

企画振興部長 長崎市ではこの制度によって7割がリフォームをしようというきっかけになったと聞いている。
議員 リフォーム助成

は、建設業界だけでなく、他業種にも波及する。先行実施した他自治体によれば、「リフォーム後に、カーテンや照明機などの備品

購入にもつながり、多岐にわたる業種に波及効果がある」と述べている。

遠くないうちに町も実施するものと理解して間違いないか。

町長 制度を取り入れたいと思っているが、町長選挙もあり確約はできない。

議員 リフォーム助成は、地域振興が目的だが、地元業者の紹介など受け皿対策は十分か。

部長 商工会などと相談しながら、使い勝手のよい制度を検討したい。

Q TPPに反対せよ

A 反対である

のか。
町長 本町は約1億7千万円の減少が見込まれ、大きな影響が及ぶと考える。

議員 TPPは、多国籍企業が、投資先の国の政策によって不利益を被ったと判断すれば、その国の政府を提訴できたり、緩和した規制を戻したりすることが許されないなど、

国の主権よりも多国籍企業の利益を優越している。

グローバル化した金融資本が、国の特性や、国民の生活を守る仕組み、規制を取り払って、自由に利益をあげる仕組みであり、長与町民も大きく影響を受ける。町長の認識はどうか。

町長 議会も反対の決議をし、農業団体や町村会も絶対反対を決議している。私もTPP（環太平洋経済連携協定）に反対である。

Q 廃止の公務員宿舎は住民のために A 要望があれば検討

議員 長与ニュータウンの合同宿舎のうち1〜2棟が、26年に閉鎖

される。地元の意向を聴取し、財務事務所に要望を働き掛けるなどの対応ができないか。
町長 建物は耐震問題もあり再利用は難しい。地元から意向が出されれば検討したい。



▲住宅リフォーム助成で地元を活性化！



「補助金の増額等認可保育所への支援拡充に関する請願」が議会に提出され、3月23日の本会議において慎重審議の結果、全会一致で採択されました。

補助金の増額等認可保育所への支援充実にに関する請願

1.要旨 認可保育所と認可外保育所への補助金等の著しい格差を是正するために、長崎県の措置に呼応して、長与町の事業として積極的な取り組みを促進されるよう請願いたします。

2.理由 待機児童ゼロといわれる長崎県において、2,900人が認可外保育所を利用していることは、その大半が認可外保育所を利用せざるを得ない実情にあり、女性の雇用機会の拡大が声高く叫ばれる今、保育行政の谷間を補完する認可外保育所の役割は、さらに必要不可欠なものであることは誰もが認めるところであります。

しかし、認可外保育所への補助金は、認可保育所の100に対し、1前後という著しい格差に認可外保育所は、そのほとんどが存続の危機にあります。

昨年3月の長崎県議会本会議におきまして、「認可外保育所への補助金の増額と地方裁量認定こども園の認可促進に関する請願」が、全会一致をもって採択されました。その採択を受けて、長崎県では、11月議会において、文教厚生委員会提出の動議として「認可外保育施設に対する財政支援を求める決議」が提出され全会一致をもって採択されました。さらに、本年3月議会に「認可外保育所の運営費補助の創設」が提案され長崎県においては具体的に予算処置が講じられることになりました。今後この県の方針に基づき事業を実施するためには、長与町において予算処置を講じていただく必要があります。本来、国の宝、県民の子として、同等であるべき子どもに対する施策が、利用する保育施設が、認可保育所か認可外保育所によって、他に例をみない補助金等の著しい格差を是正されるよう長与町に対し、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

請願者

長崎県佐世保市白木町360番地

長崎県認可外保育所協会会長 仲尾

紹介議員

安藤

克彦

勝利

東日本大震災への支援

議会では、昨年、長与町議会東日本大震災救
援対策協議会を設置し、支援に努めてきました。
昨年は、3月と6月の2回にわたり、合計20
万円、今年も昨年に引き続き10万円の義援金
を日本赤十字社を通じて贈りました。

人事案件

人権擁護委員の推薦に同意

任期満了に伴う人権擁護委員の選任で、
田中氏の再任を求める議案が提出され、
全会一致で同意しました。
今後のご活躍を期待します。



田中嘉昭氏
嬉里郷在住

24年3月議会の議案内容及び賛否

議案	審議結果	饗庭敦子	安部都	内村博法	分部和弘	安藤克彦	金子恵	川井哲雄	森謙二	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	佐藤昇	野中健次	山口憲一郎	堤理志	西田敏	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟
市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少	可決													—						
印鑑条例の改正	可決													—						
国民健康保険条例の改正	可決													—						
長与町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例	可決													—						
町立公民館の設置、管理及び職員に関する条例の改正	可決													—						
図書館の設置及び管理に関する条例の改正	可決													—						
町営住宅設置及び管理条例の改正	可決													—						
長与町地域自立支援協議会条例	可決													—						
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正	可決													—						
税条例の改正	可決													—						
介護保険条例の改正	可決													—						
町道路線の認定	可決													—						
23年度一般会計補正予算(第5号)	可決													—						
23年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決													—						
23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決													—						
23年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決													—						
23年度土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決													—						
23年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決													—						
24年度一般会計予算	可決													—						
24年度駐車場事業特別会計予算	可決													—						
24年度国民健康保険特別会計予算	可決													—						
24年度後期高齢者医療特別会計予算	可決													—						
24年度介護保険特別会計予算	可決													—						
24年度土地区画整理事業特別会計予算	可決													—						
24年度水道事業予算	可決													—						
24年度下水道事業予算	可決													—						
人権擁護委員の推薦	同意													—						
補助金の増額等認可外保育所への支援拡充に関する請願	採択													—						

(賛成 反対 - 欠席)

町民の皆様、一度議会を傍聴して下さい。おもしろいですよ。自分たちの選んだ町議の質(レベル)が良く判りますよ。本当にいい勉強になりますよ。

70代 男性

町議会は、町民の為に如何にすれば生活環境をよくしていけるのか、又、住民の生活向上の意識が高まるか、ポリシーを上げるような質問をして頂きたい。

70代 男性

来てみんな



質問の意味が理解できない。町の方としては、対応に苦慮されるのが長々と続くこのような場面は、議会として聞くのにはうんざりしました。

問題の進行をするにあたって、もっと分かりやすく問題点を出して対応できるようにするべきだと思います。

議会の日程をもっと早く知らせることは出来ないのでしょうか。

60代 女性

傍聴席から

皆様の感想は、抜粋、要約させていただきました。たくさんのご意見ありがとうございました。

議会広報調査特別委員会

委員長
副委員長

分西金安森岩
部岡子部永
和克謙政
弘之恵都二則

議長交際費 平成24年1月1日から3月31日までの総額と件数

寸志・慶祝など (各種団体総会・大会イベントなど)	63,360円(11件)
弔慰など (生花スタンド・香典など)	14,175円(1件)
激励カンパ	20,000円(1件)
視察研修自治体への謝礼	11,835円(1件)
その他 (見舞金・負担金など)	0円(0件)

支出合計109,370円(14件)

次の定例議会は 6月上旬の予定です

傍聴をお待ちしています。

3月議会の傍聴者は
延べ75人でした

編集後記

本格的な春の訪れで、日差しが暖かく感じられる季節になりました。時間の経過は早いもので、議員になつてから1年が立ちとうとしています。日々の勉強が日課になり、それでも十分ではなく必死に努めた1年でした。現在、議会と致しましては議会改革に向け、議論を重ねております。どのような改革がなされるのか、町民の皆様が関心を持たれるところではないでしょうか。今後の成り行きを見守っていただきたいと思います。今月には長与町長選挙が行われます。私たちは、未来の長与町を共に考え、それぞれの政策に基づいて、間違いない方向にリードする代表を選ばなければなりません。一人一人が、人任せの考えから脱皮し、大切な一票を投じることで長与町の将来を考え、未来の子供たちが幸せに暮らせる、住みやすいまちの一步になればと思います。また、議会だより編集におきましては、今後皆様様に親んでいただけるよう一層努力していきたいと考えております。

金子 恵



この「長与町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と有機化合物を含まない植物性インキを使用しています。